平成２９年度　市民意識調査
（旧アンケート）

■　男女平等について

問１　現在、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
（ア～クについて、あなたの考えに近い番号に○を１つずつ）

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない
ア　家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
イ　学校教育のなかで	1	2	3	4	5	6
ウ　職場のなかで	1	2	3	4	5	6
エ　社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
オ　法律や制度のなかで	1	2	3	4	5	6
カ　地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
キ　政治の場で	1	2	3	4	5	6
ク　全体として	1	2	3	4	5	6

問２　次のような考え方について、どう思いますか。
（ア～オについて、あなたの考えに近い番号に○を１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
ア　夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
イ　女性は、仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである	1	2	3	4	5
ウ　仕事をする上で、男女の能力の差はない	1	2	3	4	5
エ　自治会などの団体の代表者は、男性がなったほうがうまくいく	1	2	3	4	5
オ　夫婦別姓を選択できることを認めるほうがよい	1	2	3	4	5

問３　次のような結婚・離婚・子どもをもつことについて、どう思いますか。
（ア～オについて、あなたの考えに近い番号に○を１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
ア　結婚は、したほうがよい	1	2	3	4	5
イ　結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
ウ　結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
エ　結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
オ　一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5

■　家庭生活について

問４　あなたのふだんの生活時間についておたずねします。平日、次のようなことに使う時間はどのくらいですか。

ア 家事・育児・介護に使う時間 （炊事・洗濯・掃除・育児・介護など）	１日あたり平均	時間　　分
イ 仕事に使う時間 （仕事・通勤時間・仕事上のつきあいなど）	１日あたり平均	時間　　分
ウ 社会活動に使う時間 （ボランティア・地域活動など）	１日あたり平均	時間　　分
エ 自分自身のための自由な時間 （趣味・テレビ・スポーツ・休憩など）	１日あたり平均	時間　　分

問５　家庭生活での夫婦の役割分担はどのようにすればよいと思いますか。
（ア～キについて、あなたの考えに近い番号に○を１つずつ）

	主に夫	夫婦共同	主に妻	その他
ア　生活費を得る	1	2	3	4
イ　炊事・洗濯・掃除	1	2	3	4
ウ　家計の管理	1	2	3	4
エ　不動産などの高価な買い物の決定	1	2	3	4
オ　育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4
カ　家族の介護	1	2	3	4
キ　近所づきあいや地域活動への参加	1	2	3	4

■　子育て・教育について

問６　あなたに、男の子と女の子がいるとして、その子たちにはどのような生き方をしてほしいですか。
（○は男の子、女の子それぞれに１つずつ）

男の子について

1　社会的な地位を得る
2　経済的に豊かな生活をする
3　人間性豊かな生活をする
4　家族や周りの人たちと円満にくらす
5　社会に貢献する
6　個性や才能を生かした生活をする
7　本人の意思に任せる
8　その他（　　）

女の子について

1　社会的な地位を得る
2　経済的に豊かな生活をする
3　人間性豊かな生活をする
4　家族や周りの人たちと円満にくらす
5　社会に貢献する
6　個性や才能を生かした生活をする
7　本人の意思に任せる
8　その他（　　）

問７　学校教育について、どう思いますか。
（ア～エについて、あなたの考えに近い番号に○を１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
ア　学校は男女共学が望ましい	１	２	３	４	５
イ　積極的に男女平等教育をすすめた方がよい	１	２	３	４	５
ウ　女の子は浪人してまでも大学へ行く必要はない	１	２	３	４	５
エ　学校での性教育をもっとすべきである	１	２	３	４	５

問８　近年、出生数が減っていますが、その原因は何だと思いますか。（○は２つまで）

１　経済的にゆとりがない人が増えているから
２　育児の心理的・肉体的負担がかかるから
３　仕事をしながら子育てをするのが大変だから
４　結婚年齢が上がっているから・結婚しない人が増えているから
５　子どもに十分手をかけたいという人が増えているから
６　自分の人生も楽しみたいという人が増えているから
７　その他（　　）
８　わからない

■　就労について

問９　女性の働き方について、望ましいと思うのは次のどれですか。（○は１つだけ）

１　結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける
２　結婚や出産で仕事をやめ、その後再びフルタイムで仕事を続ける
３　結婚や出産で仕事をやめ、その後再びパートタイムで仕事を続ける
４　結婚するまでは仕事を持ち、その後は持たない
５　子どもができるまでは仕事を持ち、その後は持たない
６　仕事は持たない
７　わからない
８　その他(　　)

問10　女性が働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
（○は２つまで）

１　再就職のための講座やセミナー、技能訓練の充実
２　再雇用制度の促進
３　求人情報の提供
４　労働の場での男女平等の推進
５　パートタイマー等の労働条件の改善
６　労働時間の短縮、フレックスタイム制などの導入の促進
７　保育所・放課後学童保育の充実
８　介護サービスの充実
９　育児休業・介護休業の取得促進
１０　男性の地域社会の活動や家庭生活への参加促進
１１　その他（　　）

問11　【現在、職業に就いている方、または職業に就いたことのある方のみお答えください。】
職場におけるセクシュアル・ハラスメント（セクハラ＝性的いやがらせ）が社会問題となっています。あなたの職場ではどうですか。またはどうでしたか。
（○はあてはまるものすべて）

１　自分が直接受けたことがある
２　同じ職場の女性で受けた人がいる
３　同じ職場の男性で受けた人がいる
４　自分の職場では受けた人はいないと思う
５　セクハラという言葉を知らなかった
６　その他（　　）

問12から問16までは、女性の方のみお答えください。

問12　あなたは、現在収入のある職業についていますか。（ パート・アルバイトを含みます。）（○は１つだけ）

１　現在職業についている
２　以前は働いていたが、現在は職業についていない
３　今まで働いたことはない

問13　【問12で、「 1 」または「 2 」と回答した方のみお答えください。】
あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して次のようなことがありますか。または過去にありましたか。（○はあてはまるものすべて）

1　男性に比べて女性の採用が少ない
2　職務内容における男女差がある（女性は補助的な仕事が多いなど）
3　賃金、昇進などに男女差がある
4　女性は管理職などにつけない
5　女性は同じポストの男性より教育・研修の機会が少ない
6　女性は結婚や出産で退職するという習慣がある
7　宴会などで、女性は接待役をさせられる
8　特定の年齢以上の女性に退職を勧奨するような雰囲気がある
9　特にない
10　その他（　　）

問14　【問12で、「1」または「2」と回答した方のみお答えください。】
あなたは、今までに、仕事をやめたり、転職をしたことがありますか。

1　ある
2　ない

問15　【問14で、「1」と回答した方のみお答えください。】
その理由は何ですか。該当するものに○をつけてください。（○は２つまで）

1　家族に反対されたため
2　結婚のため
3　出産・育児のため
4　家族の世話をするため
5　配偶者の転勤のため
6　自分の健康上の理由から
7　職場の雰囲気が悪かったため
8　労働条件がよくなかったため
9　仕事があわなかったため
10　解雇されたため
11　その他（　　）

問16　【現在働いている方、または働きたいと思っている方のみお答えください。】
あなたが働いている（働きたい）主な理由は何ですか。（○は２つまで）

1　生活費を得るため
2　生きがいを得るため
3　ゆとりある生活をするため
4　老後に備えるため
5　自立していくため
6　能力や技術を生かすため
7　家業のため
8　社会に貢献するため
9　その他（　　）

■　介護について

問17　仮にあなたご自身に介護が必要になった時、どのような形で介護や世話を受けたいですか。（○は１つだけ）

１　自宅で家族に介護してもらいたい
２　在宅で公的なサービスを受けたい
３　特別養護老人ホームなどの施設へ入りたい
４　病院に入院したい
５　その他（　　）

問18　家庭での介護は、主に女性が担っている場合が多いのが現状ですが、男性が介護に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は２つまで）

１　男性が介護休暇を取りやすい職場作り
２　男性が参加できる介護講座を開催する
３　男性に対する啓発活動を行う
４　在宅勤務、フレックスタイム制などの導入を企業に働きかける
５　女性が男性に介護への参加を強く要望する
６　介護は女性が中心になって行うべきで、男性の参加は必要ない
７　その他(　　)

■　人権について

問19　新聞・雑誌・テレビなどのメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどうお考えですか。（○は２つまで）

１　女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ
２　社会全体の性に関する道徳観・倫理観などが損なわれている
３　女性に対する犯罪を助長するおそれがある
４　そのような表現を望まない人や子どもへの配慮が足りない
５　女性や男性のイメージについて偏った表現をしている
６　特に問題はない
７　その他（　　）

問20　あなたは、いままでに配偶者などから暴力を受けた経験がありますか。
（「配偶者など」には、事実婚や別居中の夫婦、元配偶者のほかに、交際相手を含みます。）
（「暴力」とは、身体的暴力のほか、言葉で傷つけたり監視するなどの精神的暴力、生活費を渡さないなどの経済的暴力も含まれます。）

１　暴力を受けたことがある
２　暴力を受けたことはない

問21　【問20で、「 １ 」と回答した方のみお答えください。】
暴力を受けたことについて、どなたかに相談しましたか。（○は１つだけ）

１　相談した
２　相談したかったが、できなかった
３　相談しようとは思わなかった

問22　【問21で、「1」と回答した方のみお答えください。】
どなたに相談しましたか。（○はあてはまるものすべて）

１　家族・親せき	５　弁護士
２　知人・友人	６　公的な相談窓口・電話相談など
３　警察	７　その他（　　）
４　医師・カウンセラー	

問23　【問21で、「2」または「3」と回答した方のみお答えください。】
どなたにも相談しなかった理由は何ですか。（○はあてはまるものすべて）

１　相談する人がいなかったから
２　誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから
３　相談しても無駄だと思ったから
４　相談したことがわかると、仕返しを受けると思ったから
５　恥ずかしくて誰にも言えなかったから
６　自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから
７　自分にも落ち度があると思ったから
８　相談するほどのことではないと思ったから
９　その他（　　）

■　社会参画について

問24　あなたは現在、仕事以外に何か活動をしていますか。
（○はあてはまるものすべて）

１　自治会、町内会などの活動	５　長寿会などの団体活動
２　ＰＴＡや子ども会などの活動	６　スポーツ・レクリエーション活動
３　ボランティア活動や市民活動	７　その他（　　）
４　趣味・学習活動	８　何もしていない

問25　自治会やＰＴＡなどの地域活動において、女性がリーダーになるなど、計画づくりや方針を決める場に「参画」していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は２つまで）

１　家庭で男性も家事・育児を分担する
２　男性中心の社会通念・慣習をなくす
３　女性のリーダーを養成するための講座やセミナーを開催する
４　女性側の意識を高めるための啓発活動を実施する
５　保育施設・高齢者施設などの福祉施設を充実させる
６　その他（　　）

問26　審議会の委員など、政策立案・方針決定の場への女性の参画について、あなたはどう思いますか。（○は１つ）
※熊谷市の審議会などの委員のうち、女性の占める割合：２４．８％（平成２９年4月１日現在）

１　男女半々がよい
２　男女半々までいかなくても、今より増える方がよい
３　男性を上回るほど増える方がよい
４　今のままでよい
５　その他（　　）

■　男女共同参画の推進について

問27　次のことについて知っていますか。
（ア～カについて、各項目ごとに○を１つずつ）

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない
ア　熊谷市男女共同参画推進条例	1	2	3
イ　熊谷市が男女共同参画宣言都市であること	1	2	3
ウ　女(ひと)と男(ひと)の情報紙「ひまわり」（熊谷市発行の情報紙）	1	2	3
エ　女(ひと)と男(ひと)のセミナー（熊谷市で開催する講座）	1	2	3
オ　フォーラムくまがや（熊谷市で開催する講演会）	1	2	3
カ　男女共同参画推進センター「ハートピア」	1	2	3

問28　男女が対等なパートナーとして、あらゆる分野に共同して参画することができる「男女共同参画社会」の実現に向けて、市では、今後どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○は３つまで）

１　学校における男女平等教育を推進する
２　セミナーなどで男女平等について学ぶ機会を増やす
３　働きやすい環境の整備を図る
４　地域活動やボランティア活動への支援を行う
５　高齢者などの介護環境を充実させる
６　保育環境を充実させる
７　女性を政策立案・方針決定の場へ積極的に登用する
８　地域活動などでの女性リーダーを養成する
９　配偶者・パートナーなどに対するあらゆる暴力の根絶を図る
１０　母性保護などの健康対策を充実させる
１１　相談機関を充実させる
１２　その他（　　）

問29　次のことについて知っていますか。
（ア～カについて、各項目ごとに○を１つずつ）

	内容を知っている	聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない
ア　男女共同参画社会	1	2	3
イ　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
ウ　雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）	1	2	3
エ　育児・介護休業法	1	2	3
オ　配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（ＤＶ防止法）	1	2	3
カ　女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3

市の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

■　あなた自身のことについて

Ｆ１　あなたの性別は

１　男性　　２　女性

Ｆ２　あなたの年齢は

１　20～24歳	４　35～39歳	７　50～54歳	10　65～69歳
２　25～29歳	５　40～44歳	８　55～59歳	11　70歳以上
３　30～34歳	６　45～49歳	９　60～64歳	

Ｆ３　あなたの職業は

１　自由業・自営業・家業	５　専業主婦・専業主夫
２　正規の社員・職員	６　学　生
３　派遣・契約・嘱託	７　無　職
４　臨時・パート・アルバイト	８　その他（具体的に　　）

Ｆ４　あなたは、結婚していますか。（入籍していない場合〔事実婚〕を含みます。）

１　結婚している
２　結婚したが、離別・死別した
３　結婚していない

Ｆ５　【Ｆ４で、「１」と回答した方のみお答えください。】
ご夫婦の働き方は

１　夫だけが働いている	３　共働きである
２　妻だけが働いている	４　夫婦とも無職である

Ｆ６　家族構成は

１　夫婦のみ（一世代家族）	４　親と子どもと孫（三世代家族）
２　親と未婚の子ども（核家族）	５　一人暮らし
３　親と子ども夫婦（二世代家族）	６　その他（具体的に　　）

以上で調査は終了となります。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。